

活動実施計画書

団体名： マチゾラシンサカエマチ

1 組織の現況、課題

- ・当団体は、団体構成員である新栄町エリアに本社をおく企業が所有する民有地（駐車場敷地）を活用し、まちの公共空間を活用した交流空間創出の地域イベントを 4 年前から継続実施している（令和 5・6 年度はスタートアップ助成、令和 7 年度はトライアル活動助成を活用）。
- ・新栄町エリアは多様な人が暮らすまちであるが、現状は通過するだけの場所となっており、まちなかに休憩や交流できる居場所が少ないことを課題と捉えている。当団体では、地域イベント継続の結果、まちに滞在を生む機会の創出に寄与しており、取組みに賛同・協力してくれる関係者（出店者、連携協力者等）との繋がりが徐々に生まれ始めている。また、令和 7 年度においては、イベント連携（東区内の他イベントとの同日開催）により、地域の回遊性向上に資する取組みにトライアルした。
- ・地域における活動を継続できている一方で、令和 7 年度において、地域まちづくり団体として自走できるよう取組み（トライアル）をしてみた結果、これまでも実施してきた周知活動が限定的な範囲であり、特に団体の活動については十分に周知できていないことで活動の発展可能性を高められていないことが課題と認識できた。さらに、過去に実施したアンケートより地域イベントの来場きっかけは“偶然/通りすがり”が多く、地域住民及び地域団体からの認知度が決して高くないことがわかった。そのため、改めて、対外的に P R する媒体の作成や認知してもらう機会を増やし、更なる活動の発展に寄与する取組みが必要であると考えます。

2 助成を受けようとする活動の目的

- ・新栄町エリアの空地（くうち）（民間所有地を含む公共空間）を活用し、住む人、働く人、訪れる人の交流や滞在が生まれるまちの新たな居場所（マチゾラ）をつくることで、新栄町を魅力あふれる賑わいエリアにすることを目的とする。本取組みは、名古屋市の Nagoya まちなかウォークアブル戦略における「官民のパブリック空間をつかう」に合致していると考えます。
- ・前年度は継続的・定期的な地域イベント実施の安定化に向けて、公共空間を活用した地域イベントを実施し、新栄町エリアの活性化、活動継続のための自走可能な組織体制の検討を進めながら、活用する公共空間や周辺エリマネ団体との連携機会を増やし、繋ぐことによる新栄町エリアの回遊の創出に挑戦した。
- ・令和 8 年度の活動は、前年度の取組みに加え、活動の PR 素材の作成・配布及び地域イベントにおける団体活動の説明ブースを設置する。地域イベントに来場いただく地域住民やイベント連携可能性があり新たな公共空間活用とともに検討できる地域企業等に対して活動内容を積極的に発信し、認知の向上及び活動に協力・賛同してくれる関係者の獲得により地域と団体との繋がりを一層強化し、団体活動の継続・発展を目指す。最終的に活動の場の拡大や企画における連携機会の創出、ならびにファン（サポーター）の拡大を目標とする。

3 活動による今年度の成果目標

- ・団体活動及び地域イベントの認知拡大に資する取組みの PR（リーフレット作成・配布、ノベルティグッズ作成・無料配布、イベント時の PR ブース設置）により、マチゾラシンサカエマチの取組みに対する接点を増やし、活動に賛同・協働してくれる個人・企業と今後の活動発展に向けた意見交換を行う。
- ・アンケートを実施し定量的なデータを収集することで、PR による効果を検証する。
- ・公共空間を自ら活用する地域イベント事業を継続することにより、来訪及び滞在機会を増やす。
- ・令和 7 年度に引き続き公共空間（道路や公園等）の活用により、新栄町エリアにおいて多様な滞在・回遊・交流が生まれる機会を創出する。
- ・団体の賛同者・協力者が公共空間を活用する際の支援（什器貸出）を行う。
- ・同区（東区）周辺における活動団体や企業、公共施設等との連携可能性を探り、活用する公共空間や活用機会を繋ぐ。

4 助成を受けようとする今年度の活動内容

●「活用する公共空間を増やす・つなげる」取組みの実証（令和7年度から継続）

- ・まちの空地（エリア内企業の所有駐車場、道路空間や公園等の公共空間等）を活用した地域イベントを企画・運営を継続する。
- ・地域イベントにおいては、過年度に把握した取組に協力してくれる方（出店者、演奏者等）とともに、ターゲットを明確に設定したテーマ性イベントを企画・実施する。
- ・地域への周知強化を踏まえ、マチゾラの活動場所や他団体との企画連携について検討する。

●「活動の関係者及びファン（サポーター）を増やす」ためのPR

- ・第一に、活動の関係者を増やすために、団体活動内容及び活動への参画募集を記載したリーフレットを作成・配布する。
- ・リーフレットの内容は、マチゾラシンサカエマチが目指すこと、これまでの活動実績、今後の展望等を取りまとめる。配布対象は、地域住民や地域企業に限らず、これまでの活動を通じて関係性を築いてきた公共施設（生涯学習センターや芸術創造センター等）、周辺企業、周辺まちづくり団体、エリマネ組織、活動への協力者、賛同者を想定している。
- ・次に、これまで少なかった来場者との交流機会を増やすために、ノベルティグッズを作成・配布する。
- ・ノベルティグッズはステッカー、缶バッジを想定し、ベースデザインを定めつつもイベントごとに色味等を変え、次のイベントで持参時に特典を付与する仕組みを予定する。これにより、ノベルティグッズをきっかけとしたマチゾラシンサカエマチと地域イベント来場者の交流を期待する。（※イベント参加の記念品として配布を想定）
- ・また、公共空間を活用した地域イベントの継続的・定期的な実施の安定のため、チラシ配布の範囲をこれまでよりも拡大することを予定する。地域イベントでは、団体活動の説明（PR）ブースを設置し、活動のサポーター募集や什器貸出の案内等の事業周知、ノベルティグッズの周知を積極的にPRすることで、活動に興味関心を持ってくれる方、共に活動してくれる方、継続的に地域イベントに通ってくれる関係者及びファン（リピーター）を獲得する。
- ・地域イベントにおける説明（PR）ブースにて来場者にアンケートを実施し、今年度のPR強化取組み（リーフレットの作成・チラシ配布、ノベルティグッズ配布）による認知・集客効果を検証する。
- ・PR強化取組みにあたっては、過年度に交流を深めた方（他の地域まちづくり団体や出店者）に協力・助言いただきながら効果的なPRを検討・実施する。

5 今年度の活動実施の際に協力や調整等が必要となる関係者等

- ・イベント事業の実現に向けては、これまでの企画への協力者（名古屋文化短期大学、新栄町を中心とした飲食店、葵学区協議会等）に加え、取組みに賛同してくれる協力者（イベントへの出店者、東生涯学習センター、エリア内事業者等）と継続連携が必要である。
- ・公共空間の活用を目指し、関係者（道路管理者や警察等）との事前相談・調整が必要である。
- ・当団体の取組みの認知度向上、活動場所の拡大を目指し、同区（東区）における活動団体（東桜エリマネジメント勉強会、葵地区エリマネジメント協議会）との連携が必要である。

6 今年度の活動内容のスケジュール

月	活動内容	詳細
4		
5	・申請書提出 ・リーフレット、ノベルティグッズの検討 ・総会※ …今年度活動の共有	※団体メンバーとの会議
6	・リーフレット、ノベルティグッズの確定 ・広報実施（マチゾラ横丁）	
7	・リーフレット、ノベルティグッズ作成 ・リーフレット配布開始	
8	・マチゾラ横丁実施、ノベルティグッズの配布 ・広報実施（マチゾラマルシェ）	【8月上旬（水 or 金）18:30~】マチゾラ横丁 民間所有地において 平日夜 の活用
9		
10	・マチゾラマルシェ実施、ノベルティグッズの配布	【10月下旬（土）11:00~】マチゾラマルシェ 民間所有地を中心に 休日昼 の活用 （出店、プログラム、休憩スペース等） ※名古屋文化短期大学との連携 ※東区生涯学習センターとの連携
11		
12		
1	・総会 …令和8年度地域イベントふりかえり …次年度以降の取組検討	
2	・実績報告書提出	
3		

7 活動後、次年度以降の展望

- ・活動範囲の拡大（道路等の公共空間活用）、活動内容の発展（活用する公共空間をつなぐ）を踏まえ、新栄町エリアにおけるまちづくりの方針・構想を検討する。まちづくりの方針・構想の作成においては、これまでの活動協力者、調整させていただいた関係機関等との意見交換を踏まえて、エリア設定や周辺他団体との役割等も整理した上で、実施する。
- ・まちづくり方針・構想に位置付ける取組みの実証事業を検討し、実施計画を作成する。
- ・地域の魅力を改めて知ってもらうことを目的に、地域住民（おとな）や近隣小学校の児童（こども）に対して、まちを知るきっかけづくり（例えば、まち歩きの実施や地域マップの作成など）を検討する。
- ・組織および活動のPRの強化を目的とし、SNS（Instagram）の活用方法やウェブサイト等のweb媒体の導入を検討する。

※ 各欄のサイズ変更は可能ですが、3ページを超えないように作成してください。

※ 用紙の大きさは日本産業規格 A4 とする。

※ この様式は公開されます。